

# Entrepreneurs meet outrageous scientists

## ～ 科学のフロントランナーが語る未来世界 ～

ヒトを軸とした大学発ベンチャーのエコシステム構築を目指し、京都大学イノベーションキャピタル(株)ではベンチャー経営に興味のある人材と大学のテクノロジーシーズをマッチングするクラブ、“Entrepreneur Candidate Club (ECC-iCAP)”を設立しました。ECCの第一回イベントは、天才科学者たちを囲んで、起業を目指す仲間やベンチャーキャピタリストと語り合うGeekでEntrepreneurialな時間をご提供します。

**日時** 8月9日(水) 19:00開始(18:30開場)～21:30終了  
**場所** 京都アカデミアフォーラム(新丸の内ビル)  
**定員** 先着50名(申込が大幅に上回る場合は抽選)  
**対象** 起業家精神を持つ社会人、企業経営者、将来、CEO、CSO、CFO等経営層を目指す個人(京都大学出身者に限らない)  
**主催** 京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
**共催** 日本ベンチャーキャピタル株式会社



**申し込み方法** 右記 URL からお申し込みください → <http://peatix.com/event/283477/view>

### 進行:(司会 京都大学イノベーションキャピタル 八木信宏)

19:00-19:05	開会挨拶	京都大学イノベーションキャピタル	室田浩司(代表)
19:05-19:10	オリエンテーション	京都大学イノベーションキャピタル	五ノ坪良輔
19:10-20:30	「科学のフロントランナーが語る未来世界」(各20分程度、5名の登壇を予定)		
20:30-21:30	交流会(登壇者別にテーブルを囲んで起業家候補と交流)		

### スピーカー:(登壇者およびタイトルは当日変更になる場合がございます)

- 篠原真毅 京都大学生存圏研究所 生存圏電波応用分野教授  
「ワイヤレス給電が開く未来と実用化の課題」
- 井上治久 京都大学iPS細胞研究所(CiRA) 教授  
「神経難病の新薬を探せ! ～患者iPS細胞が拓く創薬のフロンティア～」
- 若宮淳志 京都大学化学研究所 准教授  
「塗って作成可能な高効率フィルム型太陽電池の開発」
- 齊藤博英 京都大学iPS細胞研究所(CiRA) 副所長  
「RNAスイッチ技術による細胞の選別と運命の制御」
- 平尾一之 京都大学ナノテクノロジーハブ拠点 特任教授/京都市成長産業創造センター長他  
「ボンベの要らない固体水素源燃料電池のインパクト ～来るべき水素社会に向けて～」

## <スピーカー紹介>

### 【篠原真毅 略歴】

1968年生。1996年京都大学大学院工学研究科博士課程修了。同年・同大超高層電波研究センター助手、2010年同研究所教授となり現在に至る。専門は無線電力伝送、宇宙太陽発電所、マイクロ波プロセッシング。現在、経済産業省委託事業太陽光発電無線送受電技術委員会 委員長, IEEE MTTTS Distinguish Microwave Lecture, IEEE MTTTS TC-26 Chair, International Journal of Wireless Power Transfer Executive Editor, 電子情報通信学会WPT研初代委員長, 日本電磁波工ネルギー応用学会副理事長, ワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアム代表, ワイヤレスパワーマネージメントコンソーシアム代表他。著書にWireless Power Transfer via Radiowaves (US and EU), ワイヤレス給電技術(科学技術出版)他多数。

### 【井上治久 略歴】

1992年京都大学医学部卒業、同大附属病院等で神経内科医として診療にあたる。国立精神・神経センター、ペイチ医科大学、理化学研究所脳科学総合研究センター、ハーバード大学医学部などを経て、2005年京都大学大学院医学研究科助手、2010年京都大学iPS細胞研究所准教授、2014年同教授、読売ゴールドメダル受賞。Editorial Board of Molecular and Cellular Neuroscience。患者さん由来のiPS細胞によるヒト中枢神経系の理解、病態の解明を通じ、筋萎縮性側索硬化症(ALS) やアルツハイマー病といった神経変性疾患の根治療法の開発を目指している。

### 【若宮淳志 略歴】

2000年3月、京都大学大学院工学研究科物質工ネルギー化学専攻修士課程を修了、2003年3月に博士号を取得。日本学術振興会特別研究員、米ボストン大学訪問研究員、名古屋大学大学院理学研究科助手などを経て、2010年2月に京都大学化学研究所准教授に就任した。研究の専門領域は太陽電池、構造有機化学、有機ホウ素化学など。2009年に日本化学会進歩賞、2012年には文部科学大臣賞若手科学者賞に選ばれている。

### 【齊藤博英 略歴】

2002年東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻終了(工学博士)。日本学術振興会特別研究員、JST-CREST研究員を経て、2005年京都大学大学院生命科学研究科助手、2011年京都大学iPS細胞研究所 特任准教授、2014年同教授、2017年4月より京都大学iPS細胞研究所副所長・iPS細胞学系長を務める。文部科学大臣表彰若手科学者賞等、受賞多数。細胞種特異的なRNAやタンパク質を分子マーカーとして利用することで、標的細胞特異的に遺伝子の発現や機能を制御する技術の開発とその医学研究への応用を目指している。

### 【平尾一之 略歴】

1974年に京都大学工学部工業化学科を卒業後、1979年に京都大学大学院工学研究科博士課程工業化学専攻を修了。1998年8月に京都大学大学院工学研究科教授に就任し、2014年からは京都大学ナノテクノロジーハブ拠点長を兼任。現在は京都市イノベーションセンター長、京都市グリーンケミカルネットワーク会長、京都大学ナノテクノロジーハブ拠点 特任教授及び京都市成長産業創造センターのセンター長、日東精工株式会社 社外取締役、HAIFC株式会社 非常勤取締役、KRI顧問などを兼任し、学会としては日本セラミックス協会会長を務める。この間、紫綬褒章、ドイツアッペ財団オット・ショット賞、米国セラミックス協会モーレイ賞、ゴッタルディ国際賞、経済産業大臣賞を始め多数の賞を受賞。また NEDO のナノテクノロジープログラムや JST の ERATO 等のプロジェクトの総括責任者を務めた。